

しがらみのない若い力で、市政をチェンジ！



西東京市と出会い、このまちの魅力と市民のパワーを感じるうちに、「こんなもんじゃないぞ！」という思いは確信に変わりました。
市長として3期12年、対話と協働のまちづくりを実践し、財政を建て直した私の経験をこのまちのために、全力で生かしてまいります。 **平井竜一**

コロナ緊急事態！いま必要なのはトップの決断力！

- 市民の命が優先！ 市の財源を投入し PCR 検査を拡充
- 市内の感染状況を徹底調査し、 トップ自ら情報発信！
- 事業者支援強化！ 国保料値上げ凍結・介護保険料引き下げ

平井竜一のお約束

- このまちで子育てがしたい！
待機児童ゼロ。一人ひとりに寄り添う教育を実現します。
- 高齢者が安心して住み続けられるまちへ
介護と医療の連携強化、地域のささえ合いを進めます。
- 災害時に迅速な判断でトップの責任を果たします
- もっと魅力あるまちへ
20万人都市に相応しい図書館構想を市民ともに描きます。
- もっと市民が活躍できるまち
アートによるまちづくりで文化芸術活動を推進します。
- 地球環境のために持続可能な社会づくりを推進します

今後の駅頭予定

1/25(月)6:30~8:30
東伏見駅北口
1/26(火)6:30~8:30
田無駅北口
1/27(水)6:30~8:30
保谷駅南口
1/28(木)6:30~8:30
ひばりヶ丘駅南口
1/29(金)6:30~8:30
西武柳沢駅北口

私たちが
推薦します

プロフィール

1966年横浜生まれ、逗子育ち。40歳で逗子市長になり、米軍住宅内への自然公園開園、ファミリービーチの復活など数々の政策を実現。3期12年で引退後、仕事を通じて西東京市と出会う。市政の刷新を願う市議、市民らの熱意に打たれ、市長選出馬を決意。■早稲田大学卒。
■家族は妻、長男（社会人）長女（受験生）次男（高2）

- ・立憲民主党
- ・西東京・生活者ネットワーク
- ・日本共産党
- ・無所属市議有志一同
- ・安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める西東京市民連合
- ・東京都商工政治連盟
- 西東京支部長 松川紀代美

こんなもん じゃないぞ！

西東京市

平井竜一が今日も歩く VOL.5



いくぞ！
もっと、わくわく
するまちへ。
平井竜一、54歳。
今日も市民の声を
聞いています。

Ryuichi Hirai

54歳

平井竜一

発行：西東京市の未来をひらいていく会
代表：藤井一男 〒202-0015 西東京市保谷町 6-25-1-103



いくぞ!
もっとわくわく
するまちへ

徹底した現場主義、「対話」第一の

平井竜一が今日も歩く!



環境特集号

※次回はよいよ最終号・総集編。

VOL.5

「収穫がうれしい!」農業体験農園の利用者との懇談



農業の楽しさについてお話を伺う

市内の農業体験農園利用者の方にお話を伺いました。

逗子市には市民農園はありましたが、農業体験農園はありませんでした。

初心者でも、農園主から指導を受け、食べきれなくなるほどの野菜を収穫できるとは、たいへん魅力ですね。

利用者で「野菜料理倶楽部」を作っておられ、「畑」がコミュニティ作りに一役買っているのも注目ポイントですね。



収穫された野菜

平井竜一はこう思った!

環境分野は私が得意とする分野です。

まずは「気候非常事態宣言」を行い、温室効果ガス削減にむけた取組を強化します。

また都市と農地が共生する強みを活かし、地産地消や市民が農にふれる機会を増やしたいですね。

高齢化でリタイアする農業者と就農を希望する新たな担い手をマッチングするしくみをつくり都市農地の保全にも取り組みます。

生活するうえで必ず出るごみについては、これまでも積極的に減量化の方法を模索してきました。西東京市民のみなさんのごみ排出量の少なさは全国トップクラスと聞き、あらためて「ゼロ・ウェイスト」を目指したいと思いました。

「ゼロ・ウェイスト」を目指して 環境問題について懇談



環境問題に取り組む団体の方と懇談

環境問題に取り組まれている団体の方にお話を伺いました。

石神井川の水質検査や大気環境調査、不用になったお茶碗のリサイクルなどの活動についてのお話を聞きました。

活動初期は市にごみの分別を求める運動をされてきたとのことで、ごみ処理について話が盛り上がりました。

可燃ごみの約3割は生ごみです。市内300軒は生ごみ回収に参加しているようですが、コストが抑えられる土中の微生物で生ごみを分解する容器の普及も進めたいですね。

「まちづくりは対話から始まる」平井の今日のまち歩き



1月21日は西東京市が合併して20周年の記念日です。

田無駅北口アスタ前で、たくさんの議員と市民が結集し、西東京市の新たな未来をつくる決意を訴えました。